Press Release:2021.10.28



PACIFIC CARGUY RACING

2021 AUTOBACS SUPER GT
Round6 AUTOPOLIS GT 300km RACE REPORT

カテゴリー	:GT300クラス
エントラント名	:PACIFIC CARGUY Racing
マシン名	:PACIFIC NAC CARGUY Ferrari
カーナンバー	:9
タイヤ	:ヨコハマタイヤ
ドライバー	:木村武史、ケイ・コッツォリーノ
レースクイーン	:Pacific Fairies
開催日	:2021年10月23日-24日
会場	:オートポリス（一周4.674km）
天候	:23日 ☁(Dry)　24日 ☀(Dry)
気温	:23日 14℃　24日 14℃
路面温度	:23日 26℃　24日 19℃
参戦車両数	:GT500/15台　GT300/28台　合計43台
Best Lap	:1:43.173
Q1 Bグループ	:4位
Q2	:16位
決勝	:9位

Press Release:2021.10.28



事前情報

2年ぶりの開催となったSUPER GT オートポリス戦。直前に起きた阿蘇山の噴火により一時開催を心配する声もあったが、サーキット場への降灰はなく、無事に開催されることとなった。オートポリスのコースは、テクニックと度胸が試されるレイアウトだ。中高速で回り込むチャレンジングなコーナーが多く、山間に位置するだけに高低差が大きい。特に第2ヘアピンを抜けた先にある下り勾配10%の坂（通称”ジェットコースターストレート”）と、その先に待ち構える右60Rと90Rのコーナーは大きな見所となる。
前回の菅生戦では快調な走りを見せたPACIFIC CARGUY Racing。ドライバーは引き続き木村選手とケイ選手が担当する。両者が操縦するFerrariはこのオートポリスのコースでどのような走りを見せるのか、ファンの注目が集まった。

公式予選：Q1 Bグループ



2021.10.23
14:13-14:23

ドライバー	:ケイ・コッツォリーノ
気温	:14℃
路面温度	:26℃
順位	:4位
Best Lap	:1:43.173
Lap数	:5Lap
走行距離	:23.37km

■安定した走行でタイムを更新し、4番手でフィニッシュ。
予選日は天気に恵まれ、秋晴れとなった。気温14度/路面温度26度。ひんやりとした外気が肌寒く、路面温度も上がりにくいコンディションとなったQ1。ステアリングを握るのはケイ選手。シグナルがグリーンに点灯してコースイン。ケイ選手の走行は快調そのもの。1Lap 目で早々に2番手タイムを出し、更に3Lap目のアタックでベストタイム1:43.173をマーク。チェッカーを受けたタイミングで 2台に抜かれたものの、4番手でフィニッシュ。ケイ選手はテクニックを問われるオートポリスでもそのテクニックを見せつけた。

Press Release:2021.10.28

公式予選：Q2



2021.10.23
14:13-14:23
ドライバー　:木村武史
気温　:14℃
路面温度　:26℃
順位　:16位
Best Lap　:1:45.654
Lap数　:4Lap
走行距離　:18.696km

■木村選手、自己ベストを更新してフィニッシュ。
気温14℃/路面温度26℃、気温、路面温度ともにQ1と変わらないコンディション。Q2ドライバーは 木村選手。コースインと同時に時間をかけてタイヤに熱を入れていく。2Lap目、クリアラップを見定めながら順調にタイムを縮めていく。そして4Lap目のアタックで 木村選手の自己ベストを更新し、1:45.654をマーク。16位でチェッカーとなった。

2021.10.24
13:36-15:41
第1スティント　:木村武史
第2スティント　:ケイ・コッツォリーノ
気温　:14℃
路面温度　:19℃
順位　:9位
Best Lap　:1:47.872
Lap数　:61Lap
走行距離　:285.114km

決勝



秋らしいうろこ雲がサーキットを覆った決勝日。気温13℃、路面温度は19℃と予選日よりも低い。第一スティントを担当するのは木村選手。2Lapのフォーメーションラップを終え、レースがスタート。16番手から追い上げを狙うも、密集状態での走行が続き、苦戦を強いられる。9Lap目で第二ヘアピンにてクラッシュが発生。FCYが導入され、その後セーフティーカー（SC）が導入される。17Lap目でレースリスタート。しかし20Lap目で再びアクシデントが発生。9号車はギリギリで接触を免れたがSCが導入。このタイミングで9号車はピットインし、タイヤ交換を済ませておく。23Lap目でレースリスタート。1/3のレースが終了し、怒涛のように車両がピットインすることを予測した9号車は敢えてタイミングをずらし、24Lap目にピットイン。ケイ選手とドライバー交代。この作戦が功を奏し、順位を26番手から18番手にまであげる事に成功。これを機にケイ選手の猛追が始まる。45Lap目で10番手にまで追い上げ、入賞圏内に食い込んだ。47Lap目で1台オーバーテイクし、9番手へ。そのまま順位を守り続け、9番手のままフィニッシュ。見事今シーズン3回目の入賞を果たした。

COMMENT



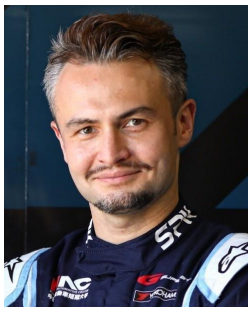
総監督　神野元樹

「前回の菅生戦で見えた課題と得られたデータからしっかりと環境を整えてくれたと感じました。マシンのコンディションもそうですが、タイヤの調子もかなり良かったです。今までチーム全体の環境作りにこだわってきましたが、オートポリスでの9位という結果で確かな手応えを感じています。残り2戦も期待に応えられるよう全力を尽くします。応援ありがとうございました。」



木村武史

「まずは私とケイ選手でのコンビで悲願の『初入賞9位』を獲得出来たことを心よりチームの仲間全員に感謝したいです！プロアマチームである私達の入賞は、私の遅さをチーム全員でカバーしてくれたおかげです。その意味ではチーム全員で獲得した『快挙』だと胸を張れると思います。今後も一つ一つのレースを大切にしながら、チームも私もより成長していきたいです。応援ありがとうございました！」



ケイ・コッツォリーノ

「今回は木村選手と組んで初めてポイントを獲得することができ、とても嬉しいです。チームも完璧な戦略でポジションを一気に上げることができましたし、タイヤもヨコハマさんのチョイスのお陰で最後までいいペースでレースを走り切ることができました。
次回の茂木はさらに上を目指してチーム一丸となって挑んでいきたいと思います。」

PARTNERS

CAR GUY　RUF　NAC NAKANIHON AUTOMOTIVE COLLEGE 中日本自動車短期大学　YOKOHAMA

SPONSORS

AUBE HAIR　PONOS　INSIGHT　TARGETSHIBUYA　OKAKIN GROUP　愛知電線 AICHI ELECTRIC WIRE

東邦ロジスティクス TOUHO Logistics　TOUHO　ASAP　KANAO CORPORATION　LIFE MIND ライフマインド　有限会社ナリーエンタープライズ NALLY ENTERPRISE INC. Valuable Information for you

StylePlus 名古屋　Creative Style クリエイティブスタイル株式会社　Ace's　新英金属　HOME PLANNER Group　G-PLUS　UMEDA GROUP

TTB TOMA Total Business Co.,Ltd.　中日本氷糖株式会社　HOUSER　シンコーグループ 新晃薬品株式会社　Fujita Corporation　JI-C corporation　PACIFIC AGENCY　MEIKOH PAINT & WATERPROOFING